


# 龍野ロータリークラブ週報

ロータリーのマジック

2024-25 年度国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

	<p>2024-25 年度 会 長 片岡孝次 幹 事 青田賢治 広報委員長 荻野正和</p>	<p>例 会：毎週木曜日 12:30～13:30 龍野経済交流センター1 階 事務局：〒679-4167 たつの市龍野町富永 702-1 龍野商工会議所内 TEL 0791-63-4141 FAX 0791-63-4360 E-mail tatsuno-rc@tatsuno.or.jp</p>
---	--	---

No.24 (3181 号) 2025 年 (令和 7 年) 1 月 9 日 (木) 晴

例会記録

点 鐘	君が代 奉仕の理想
来 客	信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席主任研究員 鹿庭 雄介様 信金中央金庫 神戸支店 次長 山本 暁様
来訪会員	なし

出席報告

会員数	出席	出席免除	欠席	出席率	前々回欠席	メイクアップ	修正出席率
28	19	10	9	90.47%	7	6	95.45%

会長の時間 ●片岡会長

－新春夢の書「観」－

2025 年、皆さんは新春をどのように迎えられましたでしょうか。

〔余談 1〕私は、年末に家族と劇場で映画を見、明けてお宮にお参り。TV で箱根駅伝をただらと観戦。あたたくなったお昼前に標高 227m の片山（金輪山）に登り、お肉・おせち・お餅と黒豆を一杯いただき、7 イレブンで買い求めた芸能人格付けの浜ちゃんエビチリチャーハンと餃子をいただきました。ゆったりゆっくり夜更かしの日々を過ごしました。

〔余談 2〕1380 年前の 645 年には乙巳<sup>いっしん</sup>の変が起きました。保守派の中大兄皇子・中臣鎌足（後に藤原鎌足）が、海外交流推進派の蘇我入鹿を打ったクーデターです。現在はクーデターから 30 年後に改新の<sup>みことのり</sup>詔<sup>みことのり</sup>があったと言われており、これを「大化の改新」としています。

私の新春の楽しみの一つに、毎年元旦 0 時より、書寫山圓教寺・大樹玄承山主が揮毫される今年一年を願う漢字「新春夢の書」があります。令和 7 年乙巳<sup>きのとみのとし</sup>年は、「観」でありました。「観」は念を入れてよく見る、明らかに見るという意味であり、仏教ではものごとの表面的な有様を突き抜けて、その本質を見透かす智慧のはたらきを「観」というようです。

「見聞きした情報を鵜呑みにするのではなく、自身で十分に調べ直し、真実であろうコトにたどり着いた後に言行に移す力量と慎重さ身に着けよ」と、説法をいただいたような気がしました。

2024 年を振り返ると、衆議院議員総選挙や兵庫県知事選挙ではマスメディアと SNS 上の情報の隔たりが、海外ではルーマニアの大統領選挙で、SNS を使った他国による政治的介入<sup>きのとみのとし</sup>があり選挙が無効となる出来事もありました。乙巳<sup>きのとみのとし</sup>年は、社会全体にも変革の波が訪れるとされています。

今年も参議院議員選挙やたつの市市長選挙が行われます。ムードやフェイク情報に惑わされず、自信を持って行政を託せる候補者に一票を投じることができるよう、「ロータリーの四つのテスト」を一文字で表したかのような「観」のチカラを高めたいと思いますが、皆さんはいかが

お考えでしょうか。

年末から新年にかけてインフルエンザが猛威を振っています。お気を付けください。

結びに今年一年、皆さんが健やかで、実り多き年になりますようご祈念申し上げます。

## 卓 話

●信金中央金庫 地域・中小企業研究所 上席主任研究員

鹿庭 雄介様

「新年の経済見通し」

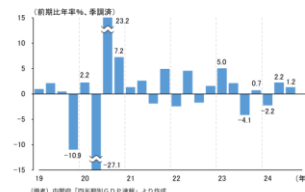


2025 年の経済見通しについてお話しさせていただきます。

- ・日本経済は一時的要因で拡大。先行きは不透明
- ・カギは「賃金上昇」と「米国経済」
- ・人手不足は日本経済にプラスかマイナスか
- ・米国経済は好調維持。労働市場は徐々に減速
- ・FRB の利下げペースは鈍化（25 年は 2 回と予想）
- ・日銀の追加利上げは 25 年 3 月と 9 月を見込む
- ・日米金利差は縮小し、緩やかな円高に転じると想定
- ・トランプ次期政権の政策に要注目

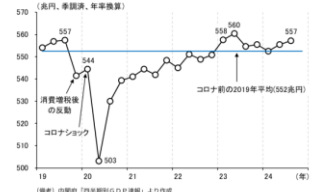
## 経済成長率(四半期)

### 実質 GDP 成長率(前期比年率)



- ✓ コロナ直後の20年4～6月期は▲27.1%
- ✓ 21年以降は制限措置の影響で増減を繰り返す
- ✓ 直近24年7～9月期は2期連続のプラス成長

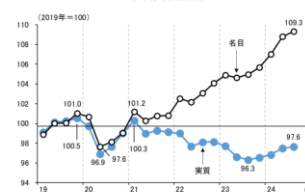
### 実質 GDP (兆円)



- ✓ コロナ直後の20年4～6月期は9割水準
- ✓ 23年1～3月期にコロナ前水準を回復
- 日本経済の「実力」が試される段階に入る

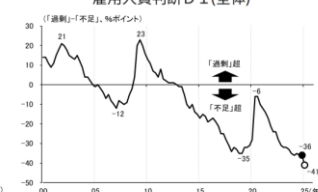
## 家計部門

### 雇用者報酬



- ✓ サラリーマンの給料の合計
- ✓ 物価上昇に賃金上昇が追いつかず、実質所得 ×
- ✓ 賃上げ機運の高まりで実質所得が増加に転じるか → 実質所得は足元でやや上向き

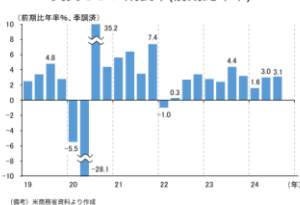
### 雇用人員判断DI(全体)



- ✓ コロナ禍でも人手不足感は解消されず
- ✓ 足元で人手不足感が再び強まる
- ✓ 人手不足は日本経済にプラスかマイナスか

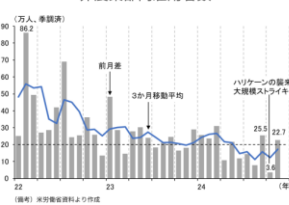
## 経済成長率(四半期)、雇用

### 実質 GDP 成長率(前期比年率)



- ✓ コロナ直後の20年4～6月期は▲28.1%
- ✓ 24年7～9月期は3.1%増(10期連続プラス)
- 潜在成長率(2%前半)を上回る高い伸びが続く

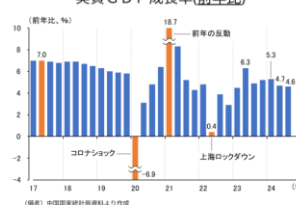
### 非農業部門雇用者数



- ✓ 直近24年11月は前月差22.7万人増
- 好調の目安となる20万人を大幅に上回る
- ✓ 基調的な動きを示す3か月移動平均は低下傾向

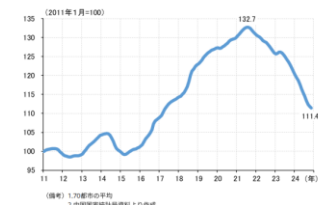
## 経済成長率(四半期)、不動産価格

### 実質 GDP 成長率(前年比)



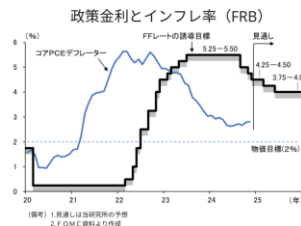
- ✓ 直近24年7～9月期は前年比4.6%増と小幅に低下

### 中古住宅価格(中国、70都市)



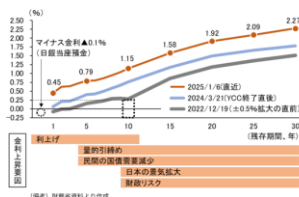
- ✓ 21年半ばをピークに16%も下落
- ✓ 先行き金融システム不安や地方政府の財政不安につながる可能性も

金融政策



- ✓ 24年9月(0.50p)、11月、12月と連続利下げ
- ✓ 25年は利下げペース大幅鈍化(3月と6月)
- ✓ トランプ新政権の経済政策に大きく左右される

イールドカーブ

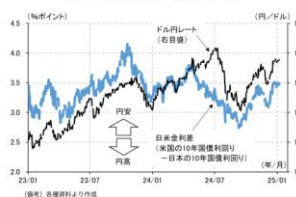


- ✓ YCC終了や利上げなどで金利は全体的に上昇
- ✓ 今後、追加利上げで短期金利がより上昇するか

5

金利差と為替の関係

日米金利差とドル円レート



- ✓ 平時では"日米金利差"が為替を左右
- ✓ 日米金利差が拡大 → 円安・ドル高圧力
- 縮小 → 円高・ドル安圧力

日本と米国の長期金利



- ✓ 米国の長期金利の方が動きが大きい
- 日米金利差は米国の長期金利に影響を受けやすい

6